

北九州市立大学 データサイエンス・AI 教育プログラム(応用基礎)
2025 年度(令和 7 年度)自己点検・評価の結果

本教育プログラムの自己点検・評価にあたり、内部質保証推進室・基盤教育センター・FD 委員会および授業担当教員が連携して、履修・修得状況の把握、アンケート実施、学修成果の確認および理解度・満足度の把握を行った。これらの結果をもとに、自己点検・評価を実施し、教育プログラムの改善に取り組んだ。

以下に自己点検・評価の結果を示す。

【学内からの視点】

① プログラムの履修・修得状況

プログラムの履修・修得状況は、本教育プログラムを構成する科目である「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の履修・単位修得状況を把握することにより確認した。受講者ごとの課題・演習等の進捗状況は、LMS を活用することにより把握した。

2025 年度は、全学部・学群で、

「社会を動かすデータ活用」履修者 372 名(再履修者 13 名を含む)、単位修得者 278 名

「社会で生きる AI 技術」履修者 372 名(再履修者 15 名を含む)、単位修得者 272 名

であり、プログラム履修者※¹は 596 名、プログラム修了者※²は 78 名であった。2023 年度以降の状況を表 1、表 2、表 3 にまとめる(i-Design 履修生、科目等履修生、学期途中の休学・退学者を除く。)。

※¹ プログラム履修者:「社会を動かすデータ活用」または「社会で生きる AI 技術」の履修者

※² プログラム修了者:「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の単位修得者

表 1. 「社会を動かすデータ活用」履修者と単位修得者(カッコ内は、再履修者の数で、内数)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
「社会を動かすデータ活用」履修者(名)	372 (13)	289 (10)	205
「社会を動かすデータ活用」単位修得者(名)	278	205	155

表 2. 「社会で生きる AI 技術」履修者と単位修得者(カッコ内は、再履修者の数で、内数)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
「社会で生きる AI 技術」履修者(名)	372 (15)	366 (14)	309
「社会で生きる AI 技術」単位修得者(名)	272	267	225

表 3. プログラム履修者とプログラム修了者

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
プログラム履修者(名)	596	542	394
プログラム修了者(名)	78	56	84

② 学修成果

「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学修成果に関する結果を確認し、本教育プログラムの自己点検および評価・改善に活用した。また、課題・演習等の成果物およびディプロマ・ポリシーの到達度を把握することにより、学修成果を確認した。

成績評価を行った結果、2025 年度の単位修得率^{※3}は、

「社会を動かすデータ活用」 単位修得率 74.7%(278/372 名)

「社会で生きる AI 技術」 単位修得率 73.1%(272/372 名)

であることを確認した。2023 年度以降の状況を表 4 にまとめる。

※3 単位修得率:(単位修得者/履修者)×100%

表 4. 単位修得率

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
「社会を動かすデータ活用」単位修得率	74.7%	70.9%	75.6%
「社会で生きる AI 技術」単位修得率	73.1%	73.0%	72.8%

③ 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」の受講者に対して授業評価アンケートを実施することにより、学生の理解度を把握し、自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックし、教員自らによる自己点検および評価・改善に活用した。

2025 年度の授業評価アンケート結果は、理解度・満足度ともに肯定的な回答の割合が多く、理解度は「深まった/やや深まった」の回答割合が、

「社会を動かすデータ活用」 90.5%

「社会で生きる AI 技術」 96.0%

満足度は「満足/やや満足」の回答割合が、

「社会を動かすデータ活用」 87.8%

「社会で生きる AI 技術」 89.1%

であることを確認した(別紙参照)。また、5 点満点の加重平均値は、

「社会を動かすデータ活用」 理解度 4.42/5 点, 満足度 4.35/5 点

「社会で生きる AI 技術」 理解度 4.50/5 点, 満足度 4.47/5 点

となっており、これらの結果から、本教育プログラムに問題がないことを確認した。2023 年度以降の状況を表 5, 表 6, 表 7, 表 8 にまとめる。

表 5. 「社会を動かすデータ活用」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 回答割合)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
理解度「深まった/やや深まった」	90.5%	87.7%	96.4%
満足度「満足/やや満足」	87.8%	87.4%	94.7%

表 6. 「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 回答割合)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
理解度「深まった/やや深まった」	96.0%	93.1%	94.5%
満足度「満足/やや満足」	89.1%	93.8%	93.3%

表 7. 「社会を動かすデータ活用」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 加重平均値)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
理解度(点)	4.42	4.37	4.46
満足度(点)	4.35	4.39	4.61

表 8. 「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度, 加重平均値)

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
理解度(点)	4.50	4.50	4.43
満足度(点)	4.47	4.54	4.50

④ 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本教育プログラムの詳細について Web サイトに掲載して, 在学生・入学希望者等へ周知を行っている。また, 授業評価アンケートにおける理解度・満足度の結果を踏まえて, 関連科目等でのアナウンスを行い, プログラムの履修を推奨している。

⑤ 全学的な履修者数, 履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

本教育プログラムの開設年度は 2023 年度であり(2022 年度以降入学生, 2 年次以降が対象), 2025 年度までのプログラム履修者数合計は 1,532 名, プログラム履修率^{※4}は 27.4%となった。2025 年度以降も, 履修者数合計および履修率は増加すると見込まれる。2023 年度以降の状況を表 9 にまとめる。

本教育プログラムの詳細は Web サイトに掲載して学生へ周知するとともに, 関連科目等でのアナウンスを行っている。引き続き, 履修者数・履修率の向上に向けた取り組みを行う。

※4 プログラム履修率: (履修者数合計/収容定員 5,596 名)×100%

表 9. プログラム履修者数合計とプログラム履修率

区分	2025 年度	2024 年度	2023 年度
プログラム履修者数合計(名)	1,532	936	394
プログラム履修率	27.4%	16.7%	7.04%

【学外からの視点】

① 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

2025 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には進路、活躍状況、企業等の評価を把握し、本教育プログラムの改善の参考とする予定である。

② 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

2025 年度時点で本教育プログラムの修了者で卒業した学生はいない。将来的には本教育プログラム内容・手法等に対する企業等からの意見を把握し、教育プログラムの改善の参考とする予定である。

【その他】

① 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

「社会を動かすデータ活用」および「社会で活きる AI 技術」について、データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような講義内容を検討し、授業を実施した。また、授業評価アンケートの結果を踏まえ、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げ、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえるような教育プログラムを検討した。

表 5、表 6 に示したように、2025 年度の授業評価アンケート結果は、

「社会を動かすデータ活用」 理解度 4.42/5 点、満足度 4.35/5 点

「社会で活きる AI 技術」 理解度 4.50/5 点、満足度 4.47/5 点

であった。「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を意識した授業を実施した結果、理解度や満足度の観点から「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらえる内容になっていると考えられる。

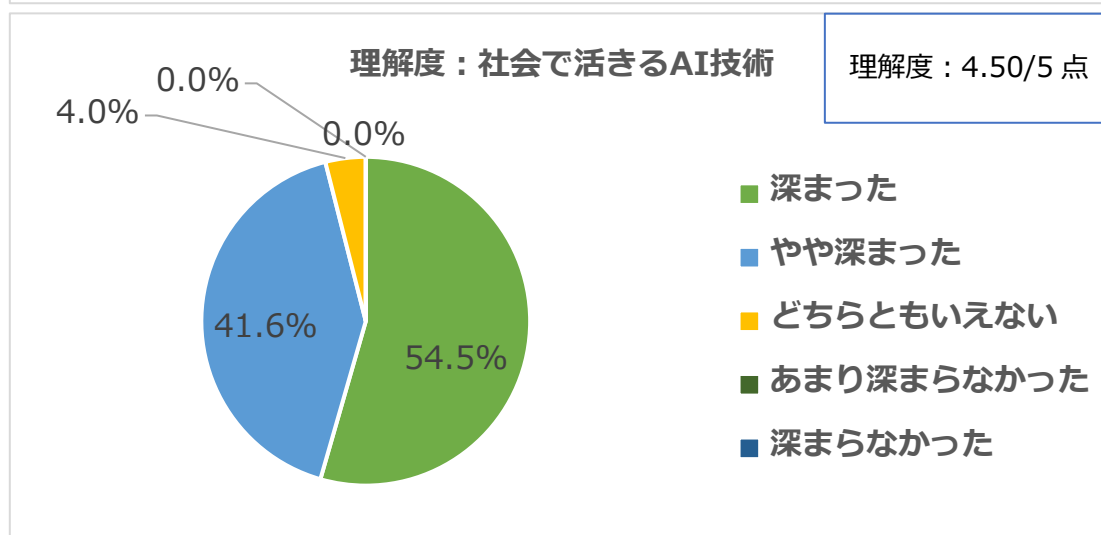
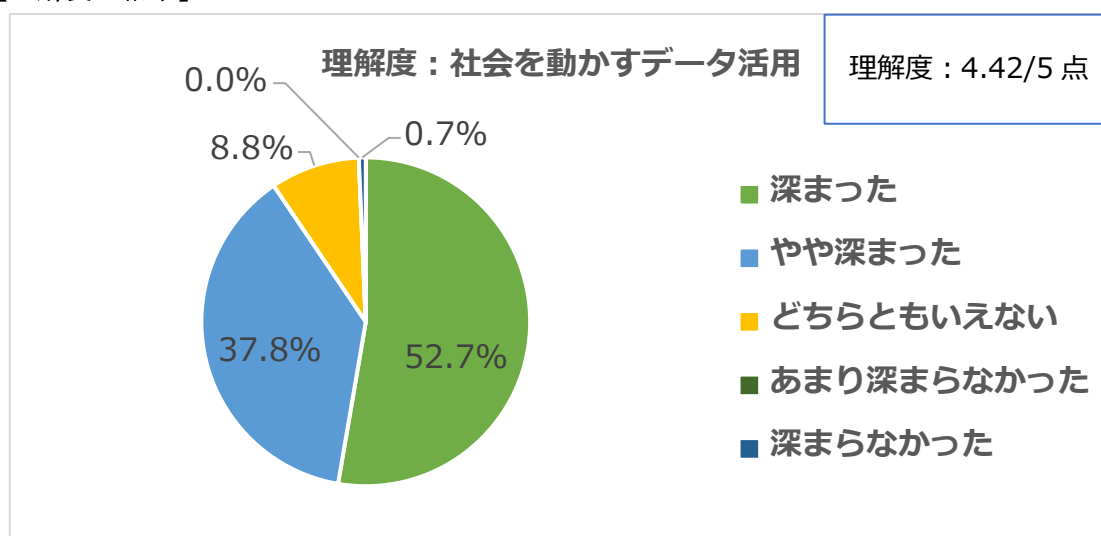
② 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

授業評価アンケートにより、学生の理解度を把握し、学修成果に関する結果を自己点検および評価・改善に繋げた。また、授業評価アンケート結果を授業担当教員にフィードバックすることにより、内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業となるように、教員自らによる自己点検および評価・改善も行なった。

別紙:2025 年度「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」授業評価アンケート結果(理解度と満足度)

北方キャンパス(外国語学部, 経済学部, 文学部, 法学部, 地域創生学群)学生とひびきのキャンパス(国際環境工学部)学生を対象として, 「社会を動かすデータ活用」および「社会で生きる AI 技術」のメディア授業を各 1 クラス実施した。両科目の授業評価アンケート結果(理解度, 満足度)を以下に示す。結果から, 両科目とも理解度・満足度ともに肯定的な回答が多いことが確認できる。

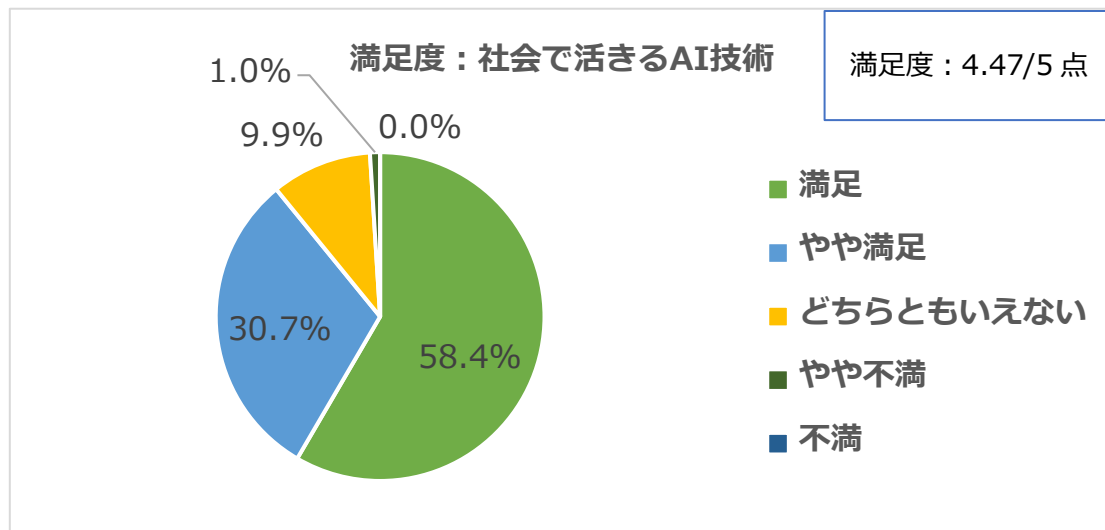
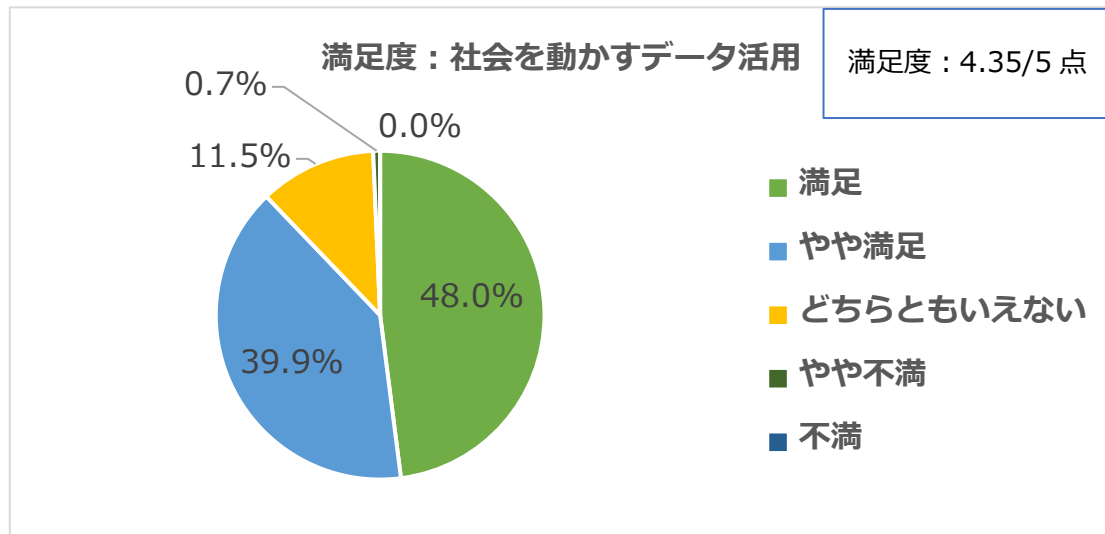
【理解度の結果】



5 点満点の加重平均値

$$\text{理解度} = [\text{深まった}(\%) \times 5 \text{ 点} + \text{やや深まった}(\%) \times 4 \text{ 点} + \text{どちらともいえない}(\%) \times 3 \text{ 点} + \text{あまり深まらなかった}(\%) \times 2 \text{ 点} + \text{深まらなかった}(\%) \times 1 \text{ 点}] / 100$$

【満足度の結果】



5 点満点の加重平均値

$$\text{満足度} = [\text{満足}(\%) \times 5 \text{ 点} + \text{やや満足}(\%) \times 4 \text{ 点} + \text{どちらともいえない}(\%) \times 3 \text{ 点} \\ + \text{やや不満}(\%) \times 2 \text{ 点} + \text{不満}(\%) \times 1 \text{ 点}] / 100$$